



第52号

練馬区水泳連盟ニュース

特定非営利活動法人(NPO法人)

練馬区水泳連盟広報部 令和5年 8月 吉日発行

東京都練馬区田柄2-6-14 TEL 3939-0011

<http://www.nerima-suiren.org>

「WATER MEETS THE FUTURE」

練馬区水泳連盟副会長(練馬区議会議員)
上野 博巳

残暑お見舞い申し上げます。また平素は、「NPO法人練馬区水泳連盟」に格別のご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて今夏は待ちに待った、「世界水泳選手権2023福岡大会」が開催されました。2週間に渡る大会で選手たちは、これまでの鍛錬に鍛錬を重ねた成果を、それぞれの形の中で素晴らしいパフォーマンスによって多くの感動と喜びを与えてくれました!!



大会のコンセプト「WATER MEETS THE FUTURE～ここで未来が待っている」には、この大会に参加するすべての人に、未来に出会ってほしいという思いが込められていたそうです。革新的なテクノロジーによって「水泳の未来」を創り出すことに加えて、様々な人々との繋がりを通じて「地域の未来」も創り出す大会を目指したそうです。

選手や水泳ファンを超えて、より多くの人々に気づきを与え、明るく健康的な未来に向けた行動を促すことで、2001年から22年を経て、「魅せる大会から、人を動かす大会」へと進化させることが目標であったそうです。多様な個々が力をあわせ、志をひとつにして大会をつくりあげる。文化や立場をこえて主体的に大会運営に参加し、大きな感動を、九州、日本、アジア、世界中へと広げる大会となりました。

私たちが約3年間のコロナ禍において、「泳ぎたくても泳ぐことのできない」日々を経験し、辛い時を過ごされた方も多くいたことでしょう。今こそ、水泳を通して様々な活動をされている『愛水家』の皆様の“力”が必要です!! 私たち「練馬区水泳連盟」も微力ながらその一翼を担い、「泳げることへの感謝の気持ち」を大切に、ここ練馬区から水泳の普及・発展、区民の健康増進の為に、今まで以上に様々な発信をして行きたいと考えております。更には今後水泳を通して地域のコミュニケーションの輪が広がることを願い、より一層充実した事業運営を行っていくことをお誓い申し上げます。

これからも、変わらぬご指導・ご鞭撻、そして、ご支援・ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

「ごあいさつ」

練馬区副区長
森田 泰子

水泳連盟の皆様には、初心者スポーツ教室、区立温水プールの障害者専用コースをはじめ、日ごろより区のスポーツ振興に多大なお力添えを頂き、真にありがとうございます。永年にわたり水泳競技の指導、発展にご尽力いただいていることに心から敬意を表します。



私は地方の出身で、昭和40年代のはじめに小学校に入学した当初はプールがなく、隣町のプールまで歩いて行っていました。その後プールが学校に設置されてから夏休みには毎日通いました。25m、50mと泳げる距離が伸び、友達とタイムを競い合うのも楽しく、クロールの息継ぎで上げる左頬が濃く日焼けしてしまった思い出があります。スポーツは苦手だったのですが水泳は大好きで、おかげで体力がつけました。水泳は、子どもから高齢者まで、障害の有無にかかわらず楽しく取り組めるスポーツであると実感しています。

コロナ禍のもと社会生活に様々な制約がありましたが、ようやく今年、練馬こぶしハーフマラソンを4年ぶりに開催することができました。これまで以上にスポーツイベントや教室の充実に努めていきたいと考えており、ユニバーサルスポーツフェスティバルの一環として、ポッチャ交流大会を初めて開催します。

今後とも、水泳連盟の皆様のお力添えを頂きながら、誰もが身近な場所でスポーツを楽しめるまち練馬の実現に向けて力を尽くしてまいります。

結びに、練馬区水泳連盟の益々のご発展と、上野庄次会長、上野ひろみ副会長をはじめ会員の皆様の一層のご活躍を心からお祈り申し上げます。